

逆風であってもその運命に打ち勝つよつに心を強くする。それによって人間が持っている潜在的な力(潜勢力・リザーブ・パワー)を100%発揮する。その力によって病を克服したり運命を切り開いたりする。それが中村天風の教えの一番の根幹です。

天風会という会はただそこまでを教えているわけではなく、どうやったら病を気にしないようになるか、運命を乗り越えるためにはどうやって心を強くすれば良いのか、その方法を教えている会です。人間の生命は心と体がかっついたものですから、もちろん肉体に関することも教えています。基本は「心の持ち方をどうやったら強くすることができるか」ということを主としています。

心を強くする方法と言っても、実際に実行しないと効果はありません。しかし、誰でも実行できる簡単な方法を実行するとのもすごく効果がある。「How to control mind」を教えているところが、他の宗教や修行法とまったく違うところです。

例えば、「右の頬を打たれたら左の頬を出せ」という言葉がありますが、問題は「どうやったら左の頬を出せるようになるか」というその気持ちの持ち方、コントロールの仕方を教えているわけです。もっと簡単に

から実行して心の中に留めよう。心身統一法の力を強くしておけば病気に悩まされず充実した人生を生きられます。俗に言う「良いことを言う」というものとはまったく異なります。「なかなか良いことをいって勉強になったね」というものではない。「How to say」ではなく「How to do」つまり「いかに行動すべきか」を教えているのです。言われたことを実行しない人には効果はありません。

ですからものすごく厳しいのです。厳しいというのは脅かしているわけではなく、それが人生の基本なのです。

天風先生の弟子は延べ100万人と言われていますが会員登録をしているのは3000人くらいです。講演会にいらした方などはもちろん何万人もいます。年齢層は若い方からお年寄りまで幅広く参加されています。本部は東京にあり、大阪・京都・名古屋・神戸・広島・岡山・福岡・北海道・仙台・沖縄と全国に支部があります。ハワイの方からも支部を作ってほしいという要望を受けています。



中村天風

天風先生との出会い

私の天風先生との出会いは28歳の時でした。そこまでは順風満帆とも言える人生を送ってきたのに、突然結核で倒れてしまった。当時は死ぬかもしれないという病でした。当時は通産省の高級官僚でしたから、病気が例え治ったとしても病気で脱落してしまったら人生終わりです。そんな時に漢方医の先生に「あなたにぴったりなのところがあるから行ってみなさい」と言われて天風先生を紹介して頂きました。

その頃は新聞やテレビで宣伝をまったくしていなかったのです。天風先生の教えで病気を治した人や運命を切り開いた人が、「喜びのおすそわけ」として天風会を紹介するというシステムでした。ですから紹介者のいない会員はなかった。戦前は原敬総理大臣や東郷平八郎・松下幸之助・稲盛和夫といった政財界の有力者や華族の方などが多かったですね。最近はインターネットや本もありますから簡単に情報が手に入りますが、昔は本も天風会員しか購入することができなかったのです。

天風先生は澀沢剛毅とした素晴らしい人物でした。居合いの達人で柔道も剣道も強い。テレビ番組も使える人です。しかし、天風会というのは天風先生の教えが有効かどうかであって、先生がどんな人物だったかというのはポイントではありません。先生の教えが今我々の人生を築き上げるのにどれだけキチンとしているかどうかです。

私は天風先生に初めて会った時に「この人に私の命を預けよう」と決心しました。それは「言われたことは全部実行する」という意味です。なぜかという病気で切羽詰まっていたから、他に活路がなかった。言っていることが正しいかどうか最初は分かりません。効果があるかどうかも分からなかったけれど、それ以外に生きる道がなかった。仮にあったとしても知りませんでしたから、この方法に賭けるしかありませんでした。

「夏季修練会」に参加しました。呼吸法や体操などを学ぶのですが、現在は私が指導しています。

そうやって天風哲学の実践に励み、9ヶ月後に病院に行ったところ「あれ、治ってますね」と医者は大変驚きました。「でも尾身さんは結核ですから今後も無理をしないでください。3ヶ月に1度は検査に来てください」と言われて以来1度も検査に行きません。元気なので行く必要がないのです。健康診断も受けていません。しかし、自分で自分の心と体を健全に保つこと、つまり天風会で教えていることは毎日きちんとやっています。人間の持っている自然治癒力を最大限に発揮させることが非常に重要なのです。

これは神がかっているわけではありません。例えば、がんの患者が手術をしなくても治るということではありません。手術を受けたあとにその気持ちの問題、病気に負けないという気持ちが大変なものです。もう駄目だと思わずに「命は助かったのだから良かった」と思うことが大切なのです。心の状態を清く・尊く・強く・正しい心、明るくほがらかに生き生きと勇ましい心になると、宇宙からくるエネルギーが自分の心と体に入って来て活性化されるという哲学なのです。物事に思い悩む必要はなく、心の状態を積極的にすることに全力を尽くせば良い。

結核が治ってからも通産省で働き、その後26年間国会議員を務め、大臣を3回歴任しました。通産省でもたくさんの方に天風先生の教えを紹介しました。役所というのは激務ですから、それをやり通せたのも心身統一法のおかげです。病気のときは病気を気にしないようになる。仕事の時は、判断力や断行力がものすごく強くなります。仕事で行き詰まった時に、どうすれば良いかが心に浮かぶのです。そのおかげであらゆる局面を切り抜けてきました。

するのかもしれないと思います。でも、もしも実践していなかった時は実践もしていません。「講習会に出席する」というのが会員の条件でもあるのです。それに心がどんどん緩んでしまうので、元の木阿弥に戻ってしまいます。心の鍛え方というのは一生ものですから、分かったから終わりではない。分かって・実践して・結果を出して・続けていかなければならない。お金持ちでもなんでも条件は平等ですから、会社の社長だからと言ってサボってよいことにはなりません。

今は月に3日間講習会があります。約3日で1サイクルで、それを全部聞かないと分か



るのかもしれないと思います。でも、もしも実践していなかった時は実践もしていません。「講習会に出席する」というのが会員の条件でもあるのです。それに心がどんどん緩んでしまうので、元の木阿弥に戻ってしまいます。心の鍛え方というのは一生ものですから、分かったから終わりではない。分かって・実践して・結果を出して・続けていかなければならない。お金持ちでもなんでも条件は平等ですから、会社の社長だからと言ってサボってよいことにはなりません。

STSフォーラムとは科学技術と人類の未来に関する国際会議

私が主催している「STSフォーラム」とは日本語で「科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム」というもので、簡単に言うとダボス経済会議の科学技術版です。世界の著名な科学者や政治家・企業家などが京都に集まり、3日間に渡って科学技術について意見を交換します。去年は104カ国から1000人が集まりました。昨年ハワイ大学総長のグリーンウッド氏も参加しました。これは日本主催の国際会議として最大のものであり、2004年に始まり今年8回目を迎えます。科学技術の会議としては世界最大です。

この会議では「科学技術の光りと影」をどのように扱うか、科学者だけでなく様々な分野の人々が集まって相談します。科学技術のおかげで生活や経済は発展しましたが、環境問題やクローン問題など様々な影の部分もある。「光りと影=Lights and Shadows」とは私が作った言葉で、最初は英語圏の方に「そんな英語はない」と言われましたが、今では参加者全員が使っています。

現在は天風会の仕事とSTSの仕事が半々で、1年の3分の1は海外を飛び回っています。アメリカ・カナダ・ブラジル・メキシコ・イギリス・ドイツ・フランス・フィンランド・スウェーデン・オランダ・インド・中国・韓国・マレーシア・ベトナム……ほとんどすべての国を回っています。STSはまだご存じない国を中心に世界をまわり、参加をお願いします。先日ハワイのダニエル・イノウエ上院議員にも参加をお願いしました。

この国際会議の構想を思いついたのは、天風会の教えによるインスピレーションの

だった頃は9日間で行っていたのですが、5日間で行うのは少し難しいので、事前に予備修練会を2日ほど行っています。これは毎年8月に開催しております。今年は400人ほど参加しました。修練会は1回出れば終わりというわけではなく、毎年参加することに意義がありますので、是非参加して頂きたいですね。

今生きている人で中村天風先生を直接知っている人はそれほどいませんが、本もありますし、「心身統一法は我々が引き継いで次の世代に伝えていく」と思っております。

尾身幸次(おみこうじ)

1932年群馬県沼田生まれ。1956年一ツ橋大学商学部卒業後、通産省に入省。在ニューヨーク総領事館領事・南アジア東欧課長・科学技術庁総務課長・中小企業庁指導部長などを歴任。1983年衆議院議員当選、以来26年間衆議院議員を務める。1995年科学技術基本法制定の中心的な役割を果たす。1997年経済企画庁長官として初入閣。2001年沖縄及び北方対策担当・科学技術政策担当大臣として、世界最高水準をめざす沖縄科学技術大学院大学の設立を提唱し、これを推進。またダボス会議の科学技術版といえるSTSフォーラムを2004年に創設し、現在理事長を務める。2006年財務大臣。2010年旭日大綬章授章。20代に結核を患い、中村天風師に師事し「心身統一法」により病気を克服し人生を切り拓く。現・財団法人天風会理事長。著書「天風哲学実践記 人生を切り拓く」。



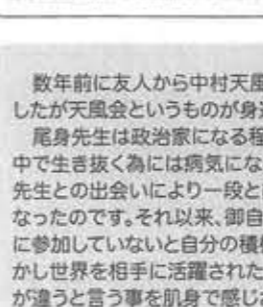
中村天風 心身統一法 行修会 in Hawaii を終えて

レイバー・デイという連休に開催されたのですが、思いもかけず、2日間とも100人に近い多くの人々にご参加いただき、驚きと感謝でいっぱいです。本当にありがとうございました。

2日目には皆さんのお顔の表情が明るくなるのが、手を取るようになってきました。これこそ、内に秘めているご自身の力なのです。その力を筆筒の尻にせず、積極的に前に持ち出し、より積極的な人生を共に歩んでいきましょう。心身統一法は知っているだけでは価値がありません。これは実践哲学です！実行しないと意味がありません！

来年の1月にはまた何かの形で、皆さんに御目にかかれる機会をつくりたいと思っています。その時まで、ご自身で毎日実践してください。よい報告をお待ちしております。感謝多謝。

ハワイ島 コナ在住 藤田紀子



数年前に友人から中村天風という本を預けて読んでみました。友人は絶賛しておりましたが天風会というものが身近に無かった為にそれ以来私の記憶からは消えておりました。尾身先生は政治家になる程の家柄ではなかったそうです。その為、先生のおられた社会の中で生き抜く為に病気になる程の努力が必要だったことなのでしょう。そこに中村天風先生との出会いにより一段と前向きな人生を送るキッカケを掴まれたのです。それ以来、御自分自身で天風学を実践されておられますが尾身先生でさえも会に参加していないと自分の積極さが鈍ってしまうことを言われました。大臣として国を動かして世界を相手に活躍された尾身先生も私達と同じ人であるということ、しかし努力の度合いが違うと言う事を肌身に感じさせて頂きました。

統一と書かれたハチマキと白の短パンとポロシャツというユニフォームを着て指導をしてくださる先生方の姿はオールドファッションのようで最初は少し当惑させられました。体操や講義が終わった後の心の高揚感はそのユニフォームまでが格好よく見えました。今回のセミナーに出席して私は積極人生を簡単に実行出来る方

